

令和2年度伊豆諸島6火山防災協議会合同会議
議事概要

1 開催概要

期間：令和2年10月19日（月）～10月23日（金）

場所：書面開催

2 議題

- (1) 新島、神津島火山避難計画（案）について
- (2) 伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島火山避難計画の修正について
- (3) 各火山防災協議会規約の改正について
- (4) 令和2年度以降の事業計画案について
- (5) 伊豆諸島の活火山（啓発リーフレット）について

3 配布資料

資料1-1 新島、神津島火山避難計画（案）について

資料1-2 新島、神津島火山避難計画（案）

資料2 伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島火山避難計画（改正案）

資料3 伊豆諸島6火山防災協議会規約（改正案）及び新旧対照表

資料4 令和2年度事業計画（案）

資料5 伊豆諸島の活火山（啓発リーフレット）について

4 主な意見と修正案

別紙のとおり

5 議事結果

議題（3）及び（4）については、当初案どおり、議題（1）、（2）及び（5）については、4「主な意見と修正案」のとおり、素案に一部修正を加え、承認された。

○ 意見を踏まえ、修正したもの

議題（１）及び（２）火山避難計画について

火山	分類	ページ 番号	当初案	意見	意見者
新島	本編 (資料 1-1)	P. 12	この活動による降灰が房総半島南部で記載されている(層厚 6～9 cm)ほか、伊豆大島、伊豆半島、静岡平野等で確認されている。	静岡平野は新島火山ではなく、神津島火山の部分で記述されるべき内容であるため、静岡平野の記述を除くのが適当である。	東京都立大学都市環境学部地理環境学科教授 鈴木委員
伊豆大島 新島 神津島 三宅島 八丈島 青ヶ島	附属資料 (火山用語)	P. 41 P. 51 P. 44 P. 33 P. 38 P. 32	タフリング(マール、凝灰岩リング) 高さが低く扁平なものをタフリング、高さが高く急峻なものをタフコーンと呼ぶ。	下線部を追記・修正する。 タフリング(マール、凝灰岩リング)、 タフコーン(マール、火山灰丘) <u>火口周辺にほとんど堆積物がないものをマール、火口周辺の堆積物の高さが低く扁平なものをタフリング、高さが比較的高く急峻なものをタフコーンと呼ぶ。</u>	東京大学 名誉教授 藤井委員
伊豆大島 新島 神津島 三宅島 八丈島 青ヶ島	附属資料 (火山用語)	P. 44 P. 54 P. 47 P. 36 P. 41 P. 35	割れ目噴火 1936年11月、伊豆大島火山のカルデラ床や外輪山斜面で発生した。	下線部を追記・修正する。 割れ目噴火 <u>1938年10月、三宅島の南西山腹で、また1936年11月、伊豆大島火山のカルデラ床や外輪山斜面で発生した。</u>	東京大学 名誉教授 藤井委員

議題（５）伊豆諸島の活火山（啓発リーフレット）について

火山	分類	ページ 番号	当初案	意見	意見者
伊豆大島		P. 4	伊豆諸島や伊豆大島の火山の成り立ちとともに、学ぶことができます。	下線部を追記・修正する。 伊豆諸島や伊豆大島の火山の成り立ちとともに、 <u>日本や世界の活火山について学ぶことができます。</u>	防災情報機構特定非営利活動法人 会長 伊藤委員
三宅島		P. 10	旧阿古小・中学校跡は当時のままの姿で	下線部を追記・修正する。 旧阿古小・中学校跡は <u>校舎に溶岩が流れ込んだ</u> 当時のままの姿で	防災情報機構特定非営利活動法人 会長 伊藤委員
三宅島		P. 10	上部だけが見えている鳥居	下線部を追記・修正する。 上部の <u>笠木</u> だけが見えている鳥居	防災情報機構特定非営利活動法人 会長 伊藤委員
三宅島		P. 10	1962年の割れ目噴火でできた山です	下線部を追記・修正する。 1962年の割れ目噴火でできた山で、 <u>昭和37年なのでそう名付けられました</u>	防災情報機構特定非営利活動法人 会長 伊藤委員

○ 意見を踏まえ、一部修正したもの
議題（２）火山避難計画について

火山	分類	ページ 番号	意見	対応	意見者
伊豆大島 三宅島	本編	掲載 なし	火山土地条件図を掲載し てほしい。	参考文献欄（伊豆大島 p. 22、三宅島 p. 20）に追記する。	国土地理院 関東地方測 量部長 山後委員
伊豆大島 新島 神津島 三宅島 八丈島 青ヶ島	附属資料 (火山用語)	P. 42 P. 52 P. 45 P. 34 P. 39 P. 33	「プリニー式噴火」の項で 小プリニウスについて言 及してほしい。	以下のように追記・修正する。 「なお、西暦 79 年、イタリア南部の ベスビオ火山噴火中に難民の救援に 向かう途中で急死した博物学者でロ ーマ帝国提督大プリニウス及び、噴 火の様子を科学的に詳細に記述した 小プリニウスの名に由来する（プリ タニカ国際大百科事典による）。」	東京大学 名誉教授 藤井委員